

審判研修会参加報告

報告者(所属)	川人 理恵(社会人連盟)
期日	2019年10月19日(土)・20日(日)
大会名	全日本大学選手権四国予選
会場	春野運動公園体育館
講師	四国ブロックIR責任者 相原 伸康 氏 1級インストラクター 白川 一樹 氏 柏原 琢磨 氏
内容	<p>19日 14:00～ 松山大学-鳴門教育大学(男子) (CC:川人 U1:竹内(高知) U2:山田(愛媛))</p> <p>PGC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3PO ベーシックメカニクスの確認 ・チェックイン チェックアウト ・アクティブリード ・レフリーディフェンスの意識 ・Lプライマリエリアの確認(コーナーでのショット) ・デリバリースキル ・TO管理(コミュニケーションを細かくとる) ・チームや選手の特徴(注意すべき選手の共通理解) <p>MTG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Cサイドへボールが展開された時、スムーズにLがプッシュすることができた。 ・積極的なローテーションが行えたが、行くべき時とバックペダルで戻る時とのプレイの見極めが必要な場面があった。 ・クロックの管理が不十分だった。4Q 2:00以降 ショット後にゲームクロックが数秒流れてしまった時やショットクロックが間違っってリセットされてしまった時の修正の仕方が課題である。 <p>20日 12:50～ 愛媛大学-香川大学(女子決勝) (CC:川人 U1:竹内(高知) U2:山田(愛媛))</p> <p>PGC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前試合と同クルーのため、前日のゲームの映像を元にメカニクスの修正部分を確認 ・チームや選手の特徴、情報共有(準決勝でスカウティングを行なった) <p>MTG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終始アイコンタクトがとれ、必要な時にコミュニケーションをとることができた。 ・誰がどこを見るのか…プライマリエリアの整理が必要。 誰もプレイを捉えられていないケースがあった。(オフボール) ・ショットクロック管理 処置ミスあり。 ・オフENSEスのイリーガルな手についての整理が必要。

感想	<p>2試合とも同クルーで試合を担当させていただき、メカニクス等の修正点や改善点をクルーで共有できたことはとても有り難かったです。今回のゲームを通して、TO管理(クロック管理)、ガイドラインの理解、プライマリエリアの理解が課題であると感じました。また、3POのベーシックメカニクスを理解した上で、今求められていることに対して適応していくことが今後大切だと思いました。自己の課題を克服し、さらなるスキルアップを目指して取り組んでいくとともに、県内へ還元し活性化につながるよう努めたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、今回の参加にあたり高知県バスケットボール協会、徳島県バスケットボール協会の方々に感謝の気持ちを込めて、報告とさせていただきます。</p>
----	--

報告者(所属)	山下 渉 (U18)
期日	2019年 10月19日(土) ~ 20日(日)
大会名	第71回全日本大学バスケットボール選手権大会四国地区予選会
会場	高知県立春野総合運動公園体育館
内容・感想	<p>10/19 (土) 担当ゲーム 徳島文理大学(64) - 四国大学(57) CC 山下(報告者) U1 岩佐(学生) 主任: 谷氏(高知)</p> <p>PGCより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2POであるために3番, 4番エリアを協力して判定していく。 ・Active Leadで判定に加わっていく。 ・ゲーム中はアイコンタクトをとり, プライマリーとアングルを大切にする。 ・T.Oとの連携をしっかりとし, タイマー, ショットクロックの表示が適切であるかを二人で協力する。 ・NewRuleの確認等。 <p>ミーティングより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決断しないといけない場面でセカンダリーコールを入れられたことが良かった。 ・コール時にしっかりと止まってコールをするように気をつける。 <p>10/19 (土) 担当ゲーム 愛媛大学(134) - 徳島文理大学(51) CC 長谷川(香川) U1 前田(愛媛) U2 山下(報告者) 主任: 相原氏(愛媛)</p> <p>PGCより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単にメカニクスの確認, ベーシックを大切に, 処置ミスゼロにする。 ・積極的にボールサイド2をつくる。 ・しっかりと走り, 止まって判定を下す。 <p>ミーティングより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点差の開いたゲームであったが, 展開が早い場面があったのでしっかりと待ち構えて判定を下せるようにしていく。 ・Leadの体の向き, 45°に向ける場面と体をParallelにする場面を使い分ける。 <p>10/20 (日) 担当ゲーム 松山大学(78) - 香川大学(69) CC 谷(高知) U1 山下(報告者) U2 森(高知)</p> <p>PGCより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Trail, Center, Leadの役割を確認。 ・積極的にボールサイド2をつくる。 ・Active Leadでしっかりと判定していく。 ・デッドボールオフィシエーティング。 ・ベーシックなメカで, シンプルにイリーガルなものを取り上げ, 処置ミスゼロに。

	<p>ミーティングより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手がフロアに倒れるケースがあったが、決断できなかった場面があった。けがにつながる前に判定を下していく。 ・アンスポーツマンライクファールのようなケースは集まるべきであった。 ・ベンチのアピールに対してワーニングを入れるケースがあった。 <p>(所感)</p> <p>今回初めて、インカレ予選に参加させて頂いた。県外派遣のたびに新たなケースや新しい知識を更新でき、このような機会を与えて下さっている環境に日々感謝している。今回の大会で得たことは、自分自身の成長に繋がったと感じている。県外派遣で得たことを県内の活動を通じて還元していきたいと思う。</p>
--	--

報告者(所属)	玉田 将貴 (U12)
期日	2019年10月19日、20日
大会名	全日本大学選手権四国予選
会場	春野総合運動公園体育館
内容・感想	<p>○担当ゲーム</p> <p>10月19日 Bコート 12:30～ 徳島大学 — 聖カタリナ大学 CC:玉田 U1:日笠氏(愛媛大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PGC 自分のプライマリーを意識した判定をすることを確認した。加えてタイマーの管理、ショットクロックの管理を徹底することを確認した。 ・ミーティング POCがあっていたのか。説得力のある笛にするためには重要となるので、しっかりと確認した上でレポートを行う。 選手の顔色やプレーの変化等を察知し、ゲームコントロールをもう少しできればよかった。 <p>10月19日 Bコート 15:30～ 高知大学 — 徳島大学 CC:谷氏(高知) U1:木村氏(愛媛) U2:玉田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PGC IOTについてや基本的なメカニクスについての確認を行った。ベーシックを大事にすることも確認した。また、ベンチや選手の管理を3人共が意識して行うことを約束した。 ・ミーティング 選手が変わり、ゲームの質が変わったところに対応しきれなかったところがあったことを反省した。立て続けに吹かなければならないようなケースで笛が入らなかった。 プライマリー外でも自分のアングルからしか見えないケースもあるので、その際には確実に判定行っていく。 ワーニング等があった際にクルーで確実に情報を共有しなければならない。同じようなケースがあれば、すかさず笛を入れる。

10月20日 Fコート 11:10～

高知大学 — 愛媛大学

CC: 竹島氏 (高知) U1: 木下氏 (高知) U2: 玉田

・PGC

基本的なメカニクスの確認を行った。クルーでコミュニケーションを図り、時間やファールの数を常に皆が把握しておくことを確認した。

・ミーティング

クロスコールでの笛やブラインドからの笛は本当にあったのかわからないようなケースがあった。こうした笛の積み重ねが選手やベンチの信頼関係を崩してしまう。

ゲームがバタバタしたところで、的確に笛を入れてゲームをコントロールしなければならないケースがあった。

自分はU2であったが、クルーチーフメンタリティーを発揮し、ゲームコントロールを行わなければならなかった (ワーニングにいく等)。

○所感

自分の課題は「決断」することであるが、その部分がまだまだ弱いことを再認識した。色々な場に出て行き、もっともっと課題を持ち取り組んでいかなければなかなか成長することはできないと思う。どんなゲームでも、どんなクルーでもクルーチーフメンタリティーが発揮できるように、しっかりと正しい決断ができるように自分自身を高めて行きたい。